



# ささやま 市議会だより

たんなん味覚まつり



丹波篠山味まつり



丹波立杭焼陶器まつり



味覚フェア楽市楽座



第10号

平成13年11月21日発行

## おもな内容

- ◆おもな議会審議内容 ..... P 2~3
- ◆決算認定 ..... P 4~7
- ◆一般質問（代表・個人） ..... P 8~13
- ◆要望を受けました ..... P 13~14
- ◆視察研修をしました ..... P 15
- ◆議会のうごき・編集後記（まちなみ） ..... P 16

# おもな議会審議内容

9月定例会は9月12日から10月10日までを会期として開き、補正予算案件7件、条例案件2件、工事契約案件などについて審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## 主な補正予算

- 庁舎管理費 815万9千円  
市民会館を第2庁舎とするための耐震診断費他
- 乳幼児医療費助成事業 1,876万9千円  
3歳未満から6歳未満に助成制度が改正されたため
- 予防費 1,053万円  
予防接種法が65歳以上に改正されたため
- やすらぎの交流施設整備事業 1億7,869万7千円  
大山市民農園に滞在施設15棟の建設費他

- 公営住宅用地整備事業 5,810万7千円  
県営住宅池上・糯ヶ坪団地の統合新築事業費他
- 史跡篠山城跡土地買上事業 862万円  
三の丸地内民地公有化事業

- 生涯学習センター整備事業 1,785万円  
現丹南公民館を四季の森会館隣接地に新築移転計画費

## 条例を制定しました

- ◆ 篠山市認可地縁団体印鑑条例を制定
- ◆ 篠山市やすらぎの交流施設整備事業分担金徴収条例を制定

## 住み良いまちづくりのために契約しました

篠山市基礎地図作成委託業務契約

明生建設株式会社丹波営業所  
常務取締役所長 嶋邨 勝美

- ◎ 契約方法 指名競争入札
- ◎ 契約金額 2億475万円

- ◎ 契約の相手方 神戸市中央区磯上通4-1-6

株式会社パスコ神戸支店  
支店長 深尾 隆

篠山市立村雲小学校屋内運動場改築工事請負契約

- ◎ 契約方法 指名競争入札
- ◎ 契約金額 1億8,585万円
- ◎ 契約の相手方 氷上郡柏原町母坪423-1



村雲小学校屋内運動場完成予想図

おもな議会審議内容



岡野小学校屋内運動場完成予想図

篠山市民センター(仮称)  
新築工事請負契約

◎契約方法 公募型指名競争入札  
◎契約金額 17億8,500万円

◎契約の相手方

神戸市中央区八幡通3-1-14  
東洋建設株式会社神戸営業所  
所長 秋山 悟

篠山市立岡野小学校屋内運動場  
プール改築工事請負契約

◎契約方法 指名競争入札  
◎契約金額 4億2,000万円

◎契約の相手方

中兵庫・吉住建設共同企業体  
構成員(代表者)  
篠山市八上内甲407-1  
中兵庫建設株式会社  
代表取締役 宮城 隆一郎  
氷上郡春日町野村2465  
株式会社吉住工務店  
代表取締役 吉住 俊一

特定環境保全公共下水道事業

西部浄化センター  
(今田町市原地内)土木建築  
工事請負変更契約

契約金額「2億8,644万円」を  
「2億9,388万4,500円」を  
とする。

西部浄化センター  
機械設備工事請負契約

◎契約方法 指名競争入札  
◎契約金額 3億8,325万円

◎契約の相手方

大阪市中央区備後町4-2-3  
ヤマイチテクノス株式会社  
代表取締役 金山 健一

西部浄化センター  
電気設備工事請負契約

◎契約方法 指名競争入札  
◎契約金額 1億7,640万円

◎契約の相手方

神戸市中央区浜辺通4-1-1  
株式会社きんでん神戸支店  
支店長 中村 啓一

大山浄化センター(大山下地内)建  
設工事委託業務に関する基本協定

◎契約方法 随意契約  
◎契約金額 10億4,000万円

◎契約の相手方

東京都港区赤坂6-1-20  
日本下水道事業団  
理事長 内藤 勲

公共下水道事業

篠山環境衛生センター(吹上地内)  
機械設備工事請負契約

◎契約方法 指名競争入札  
◎契約金額 3億4,650万円

◎契約の相手方

大阪市中央区北浜2-2-22  
栗田工業株式会社大阪支社  
大阪支社長 石井 雅裕

篠山環境衛生センター  
電気設備工事請負契約

◎契約方法 指名競争入札  
◎契約金額 3億4,125万円

◎契約の相手方

神戸市中央区浪花町59  
三菱電機株式会社兵庫支店  
支店長 中村 憲治

篠山市立中央図書館(仮称)  
建設工事請負契約

◎契約方法 公募型指名競争入札  
◎契約金額 12億8,100万円

◎契約の相手方

フジタ・但南特別共同企業体  
構成員(代表者)  
神戸市中央区三宮町1-10-1  
株式会社フジタ神戸支店  
支店長 久野 道夫  
篠山市黒岡63  
但南建設株式会社篠山営業所  
所長 秋山 雅之



篠山市立中央図書館(仮称)完成予想図

# 平成12年度 決算認定

## 平成12年度決算における市財政の概要(普通会計)

(単位：千円、%)

区 分	平成12年度	平成11年度	対前年度比
歳入総額	31,524,109	30,889,434	634,675
歳出総額	30,713,166	29,956,713	756,453
歳入歳出差引額	810,943	932,721	△ 121,778
翌年度へ繰越すべき財源	469,897	478,622	△ 8,725
実質収支額	341,046	454,099	△ 113,053
単年度収支	△ 113,053	454,099	△ 567,152
財政調整基金積立金	1,118,171	889,232	228,939
繰上償還金	0	0	0
財政調整基金取崩額	727,000	0	727,000
実質単年度収支	278,118	1,343,331	△ 1,065,213
実質収支比率	2.4	3.3	△ 0.9
基準財政需要額	10,416,639	10,213,917	202,722
基準財政収入額	5,285,283	5,136,776	148,507
標準財政規模	14,122,268	13,906,693	215,575
財政力指数	0.490	0.468	0.022
経常収支比率	81.5	78.8	2.7
公債費比率	17.2	16.3	0.9
単年度起債制限比率	12.8	11.9	0.9
起債制限比率	11.8	10.7	1.1
財政調整基金現在高	3,008,407	2,334,236	674,171
地方債現在高	37,271,397	30,573,479	6,697,918
債務負担行為限度額	16,998,138	13,792,861	3,205,277

平成12年度はデフレ経済不況の中で、市税の減少、合併特例債による事業の増加、地方債の発行増など、財政は厳しい状況にあるにもかかわらず、普通会計の歳入総額は315億2,410万9千円、歳出総額307億1,316万6千円、翌年度へ繰越すべき財源4億6,989万7千円、実質収支額3億4,104万6千円の黒字となっている。

決算認定については、一般会計の他14会計を各常任委員会に付託、担当部署の説明を受け慎重審議しました。市長、教育長に対する総括質疑のあと採決があり、10月10日、各常任委員長の報告の通り、全員賛成をもって認定した。

### 一般会計とは…

地方公共団体の基本的な経費（例えば議会費、総務費、民生費など）が中心として計上され、地方公共団体存立の目的を達成するために要する経費を経理する会計。

### 特別会計とは…

一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して、別個に処理するための会計。

### 普通会計とは…

個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なっている等の理由のため、財政比較や統一的な把握が困難なため、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分。

# 総務文教常任委員会

委員長 渡辺省悟

平成12年度一般会計の歳入総額326億1,718万3,000円、歳出総額318億1,283万3,000円で、明許繰越額を差し引いた実質収支額は、4億7,073万6,000円となっている。とはいえ自主財源は29・7%と低く、依存財源が70・3%を占めている。市債の12年度末現在高は、369億1,149万1,000円と歳入総額を上まわっており、公債費比率も17・2%と昨年度決算より0・9%上昇し、後年度負担を心配する中、健全財政や行政改革に力点をおいて審査してきた。併せて合併後一本化されずに調整の残っている点も指摘した。

以下、当委員会の審査で際だった問題点を市長に質問し、回答を寄せられたものです。

**問**

景気の低迷による市の税の減少、地方交付税の見直し気運、大型事業とその運営費増大が予想される中、今後の財政は大丈夫か。

**答**

先程第二次財政計画を示したが、今後の経済情勢の成りゆきで再検討したい。財政状況は平成15年度が一番厳しい年となる。公債費の繰り上げ償還や、尚一層の行政改革で厳しい時期を乗り越えたい。

**問**

市民の負託に応える行政のためには職員の資質向上が不可欠。教育行政に関わる職員はその上に教育への情熱が必要だ。職員研修をどのように考えているか。

**答**

平成12年度に職員課を発足させ内部研修、自己啓発研修を民間企業からも講師を迎え実施してきた。若手職員自らが研鑽するグループもできている。又、

目標管理制度(自己点検)を11月から実施するよう指示した。

(市長)

市職員としての資質の上に教育行政を担当している自覚が必要だ。300人近い職員があり、組織の統制をとり、月に一度は私の思いを全職員に伝える機会や、更なる研修も必要と考えている。(教育長)

**問**

公共事業の基本構想、計画、実施設計、監理等特定の業者に随意契約している事例が多くみられる。法に定められた根拠も不明瞭である。競争による適正価格の形成や公平性の確保などで見直すべきではないか。

**答**

事業の中味や経過が多様で、初めての事業もあり全部を競争入札するだけの職員の力が備わっていないかった。プロポーザル・コンペ方式でも競争原理が働く方法を探したい。

**問**

公民館活動への公費負担にバラつきが見られる。特に西紀公民館



にしきふるさとまつり

**答**

への支援内容は検討すべきである。合併直後から調整をはかってきたが、今後は中央公民館方式や支所と公民館のありようを改革する中で考えた。

**問**

篠山城跡内の中学校跡地に小学校を一代限りで改築する計画は、篠山城跡をスッキリ整備するためにも決断すべきと思う。

**答**

昭和38年頃からの文化庁との約束。平成10年頃の合意や地元の要望等もあり、変更のないことをご理解頂きたい。



12年3月竣工 大芋小学校

## 民生福祉常任委員会

委員長 松本 孜

平成12年度、篠山市一般会計並びに特別会計5会計の歳入歳出決算認定について、第21回定例会において、本委員会に付託され全員賛成にて認定する事に決定した。以下、その概要を記す。

### 生活部の主な指摘事項

#### 消防交通

**問** 行政改革の対象になった組織の見直しは。

**答** 平成15年実施に向けて素案の検討をしている。来年2月頃から各自治会に説明していきたい。

**問** 防火水槽、消火栓等の適切な配置及び街路灯の電気代負担について。

**答** 公衆街路灯に統一し、負担は公正を期したい。

#### あさぎり苑

**問** 下水道が完成すればし尿汚泥の収集量は減るだろう。今後の対応は。

**答** 年々減っているのは

事実。しかし、完全になくなることはないと思う。今後の課題である。

#### 人権推進室

**問** 同和对策事業の基礎になる実態調査の状況は。

**答** 解放研究所に調査分析の委託をしている。現在種々のデータを提示し進めている。本年度中には調査の報告をしたい。

### 保健福祉部の主な指摘事項

**問** 敬老会が種々の状況変化によって形骸化していないか。時代に合った改善が必要では。

**答** 実行委員会の自主的

な方法でお世話になっている。小学校区単位で、コミュニケーションづくりが出来ればと思っ

**問** 篠山市全体の医療システムをどう考えるか。

**答** 兵庫医大に小児科ができ、今後救急体制の充実や休日診療にも充分な配慮が必要と思っ

**問** 保育所の充実整備と保育料の引下げは出来ないか。

**答** 保育所の統廃合は必要。民営も視野に入れて様々な保護者の要望に応えられる体制を築きたい。保育料につ

ては現在の七階層区分を細分化する事により、引下げを図りたい。通園バスの料金も無理のないように統一化していきたい。

#### 消防本部

**問** 救急資機材の点検手数料とは。価格は適切か。

**答** 年1回の点検で高規格救急車は専門知識が必要。交換する部品代も含めて、業者にお願

いしている。他に在宅介護支援センター、デイサービス、社会福祉協議会への補助と活動、シルバー人材センターへの補助と活動、障害者対策助成事業、生活保護世帯の実情、健康診断とガン検診、生活習慣病の予防等審査を行った。

### 特別会計の主な指摘事項

#### 介護保険について

訪問看護ステーションが西紀から丹南健康福祉センターへ移った。主治医の指示に基づき、訪問看護サービスをしている。在宅介護支援センターから介護保険の訪問調査を

やっている。12年度は9月より本来の1/4の賦課金を徴収したが、滞納者が24人であった。新しい制度であるだけに正しい理解を得られるよう積極的に啓蒙指導を進めたい。

#### 老人保健について

一人当り医療費は59万8,758円である。これは県下で58番目になる。国民健康保険税による収入未済額は1億8,054万7,089円である。特別徴収班を設けて昼夜を問わず、努力している。他に診療所各会計、住宅資金特別会計等審査した。



本年度完成予定の畜場

# 産業建設常任委員会

委員長 森口昌英

平成12年度産業建設常任委員会に付託された、一般会計、特別会計5会計、公営企業会計3会計について審査いたしました。その概要を報告します。

## 一般会計の 主な指摘事項

**建設部の建設課・都市計画課・環境整備課の事業について**

**問** 市営住宅使用料の滞納金が2,700万円を超えているが、今後どう対処されるのか？

**答** 建設課を中心に横断的に班を組んで徴収にあたる。尚、悪質な滞納者には、弁護士と相談のうえ、法的処置を執っていききたい。

**問** 都市計画道路の見直しについて？

**答** 検討委員会で検討中、確定すれば関係集落毎に説明と協力を要請します。

**問** 繰越事業が多いのは工事発注の時期が遅いのではないのか？

**答** 年度内施工をめざし、スムーズな事務の執行に努めたい。

**問** 篠山中学校の16年開校に向けて、通学路等周辺道路整備はどうなっているのか？

**答** 早急に教育委員会と話し合い、進めていきます。

**問** 小型合併浄化槽の補助金変更、5人、7人と2段階になっている理由は？

**答** 国の分類基準が変わったために見直した。ちなみに5人槽53万4,000円、7人槽63万4,000円です。

**産業経済部の農林振興課・商工観光課と農業委員会の事業について**

**問** 有害鳥獣対策として、市内全域に防護柵を設置しては？

**答** 有害鳥獣対策として、市内全域に防護柵を設置しては？



有害鳥獣対策防護柵

**答** 総延長250キロで概算5億円以上必要だが、平成14年度以降具体的に取組んでいきたい。

**問** 農地転用事前着手及び無断転用の処置について？

**答** 悪質な4名に事前聴取をし、誓約書を戴いております。

**問** 形状変更41件につき、下排水の残土処分との関係は？

**答** 環境整備課と充分連絡をとっています。

**特別会計の  
主な指摘事項**

**問** 宅地造成事業会計では、4地区23区画が残っており、更に打坂に16区画造成中である。早期販売計画の具体策は？

**答** 市内の業者等と共同で住宅フェアの開催、ハウスメーカーに一括処分というように検討もしていきたい。完売に向けて努力します。

## 公営企業会計の 主な指摘事項

**問** ガスの熱量変換事業も終わったが、将来の経営計画は？

**答** 民間移譲は難しい状況であるが、ガス事業経営審査会を設置し民間移譲するため検討をしていく。

**問** 県水導入に伴い、水道料金の値上げは？

**答** 合併後5年間は値上げしない。しかし浄水場、配水池の統廃合、人員の削減等努力したうえで、見直さなければならぬ時期がくるかも知れません。



天然ガス変換に伴う工事

# 産業建設常任委員会

委員長 森口昌英

平成12年度産業建設常任委員会に付託された、一般会計、特別会計5会計、公営企業会計3会計について審査いたしました。その概要を報告します。

## 一般会計の 主な指摘事項

**建設部の建設課・都市計画課・環境整備課の事業について**

**問** 市営住宅使用料の滞納金が2,700万円を超えているが、今後どう対処されるのか？

**答** 建設課を中心に横断的に班を組んで徴収にあたる。尚、悪質な滞納者には、弁護士と相談のうえ、法的処置を執っていききたい。

**問** 都市計画道路の見直しについて？

**答** 検討委員会で検討中、確定すれば関係集落毎に説明と協力を要請します。

**問** 繰越事業が多いのは工事発注の時期が遅いのではないのか？

**答** 年度内施工をめざし、スムーズな事務の執行に努めたい。

**問** 篠山中学校の16年開校に向けて、通学路等周辺道路整備はどうなっているのか？

**答** 早急に教育委員会と話し合い、進めていきます。

**問** 小型合併浄化槽の補助金変更、5人、7人と2段階になっている理由は？

**答** 国の分類基準が変わったために見直した。ちなみに5人槽53万4,000円、7人槽63万4,000円です。

**産業経済部の農林振興課・商工観光課と農業委員会の事業について**

**問** 有害鳥獣対策として、市内全域に防護柵を設置しては？

**答** 有害鳥獣対策として、市内全域に防護柵を設置しては？



有害鳥獣対策防護柵

**答** 総延長250キロで概算5億円以上必要だが、平成14年度以降具体的に取組んでいきたい。

**問** 農地転用事前着手及び無断転用の処置について？

**答** 悪質な4名に事前聴取をし、誓約書を戴いております。

**問** 形状変更41件につき、下排水の残土処分との関係は？

**答** 環境整備課と充分連絡をとっています。

## 特別会計の 主な指摘事項

**問** 宅地造成事業会計では、4地区23区画が残っており、更に打坂に16区画造成中である。早期販売計画の具体策は？

**答** 市内の業者等と共同で住宅フェアの開催、ハウスメーカーに一括処分というような検討もしていきたい。完売に向けて努力します。

## 公営企業会計の 主な指摘事項

**問** ガスの熱量変換事業も終わったが、将来の経営計画は？

**答** 民間移譲は難しい状況であるが、ガス事業経営審査会を設置し民間移譲するため検討をしていく。

**問** 県水導入に伴い、水道料金の値上げは？

**答** 合併後5年間は値上げしない。しかし浄水場、配水池の統廃合、人員の削減等努力したうえで、見直さなければならぬ時期がくるかも知れません。



天然ガス変換に伴う工事



# 表 質 問

会、共生クラブが登壇、市政全般にわたって、質

## 篠山市の教育改革について

【新国会代表】

松本 孜 議員

**質問** 一、社会教育は教育委員会から市長部局へ移管するべきと思うが。

二、公民館を支所と一体の中に置き、支所長管轄の下に公民館活動を含める事が現実的で実行性のある活動になると思うが。  
三、特色ある学校を築くためには、校長の権限を強化し地域住民も参加したふるさとを愛する誇りを持った魅力ある学校を競い合っても良いのではないか。  
四、中学校は通学区を廃止して保護者と生徒による希望校選択制にしては。  
五、複式学級は廃止すべきである。先生の増員を図るか、人口増対策を積極的に進めるか。将来は全体計画の中で学校再編整備を考える事も必要。

六、幼稚園経営と児童保育預かり保育を早急に考える必要がある。

**答弁**

一、社会教育は各世代、各分野に亘る重要な教育システムであり、市民のニーズと地域の状況を十分に把握して教育計画を立案する必要がある。社会教育は、学校教育と共に篠山市の教育を支える両輪として相互の連携を積極的に深める事が大切であります。相乗的教育効果が得られるよう教育委員会部局の大きな柱と位置づけ、充実に努力して参ります。  
二、支所と公民館が同一建物の中で両者の機能を果たし住民の側から見れば利用しやすい拠点として好評を得ているところ

もありますので市長部局とも十分な協議調整を図りながら、公民館活動の活性化に努力して参ります。  
三、既に市内の各学校において、地域の文化・伝統を大切にし、ふるさとを愛する心を育てる「ふるさと教育」、外国の人々との交流による「国際理解教育」、地域の産業や特産物を学習に取り入れ、地域の人を講師として米作り体験、黒豆学習等の「勤労生産学習」や環境保全・自然保護活動等の「環境教育」等地域の特色を生かし、創意工夫を凝らした実践を積み重ねております。今後更に学校の自主性・自律性を尊重し、学校から保護者・地域へ発信すると共に一層魅力ある学校づくりを推進するよう指導し、今日の学校経営の潮流である、校長の教育理念と学校経営理念が生かされた「自律的學校経営」を支援して参ります。

とつと考えられます。教育改革基本構想も検討委員会において様々な角度から議論を頂いておりますが現時点では時期尚早かと考えます。  
五、教育委員会は複式学級の解消と将来の少子化に対応するため、学校の適性配置計画を検討中であり、まず中学校の通学区の変更、中期的には既存の学校に複式学級になる学校も含めて、学校統合をはかりながら解消していきたいと努力して参ります。

六、幼稚園教育振興計画策定検討委員会で今後4歳児から2年保育の実施に向けて検討を行って参りたい。今日の少子化・女性の社会進出等の情勢を踏まえ、延長保育（預かり保育）の在り方について検討を深めたいと考えております。将来的な展望と致しましては幼稚園と保育園のそれぞれの役割・機能を生かした幼保一体化構想について検討を行い、各課題については各関係部と緊密な連携のもと進めて参ります。

四、通学区を廃止し、希望校自由選択制度は将来的には望ましい方向のひ

ぜひ、傍聴に



教育視察 能代市



通学は自由選択の秋田市

# 代 派 会

会派代表質問は9月19日に行われ、新政治家・提言などを行った。

お越し下さい

## 一、繰越明許費の改善を！ 二、情報公開条例の運用と 個人情報保護条例の制定 について

【共生クラブ代表】

植野良治 議員

能であると考えますが、一般財源のみの事業であっても事業の継続性から判断いたしました。繰越明許の処理が適切かと考えておりますが、繰越事業の個々の事情等判断いたしました。適切に処理してまいりたいと考えております。

### 質問

一、①平成14年度への繰越明許費の見直しは、本年度と比べてどうか。

②一般財源のみの事業も5件が含まれているが事業の執行状況等早期に見きわめ、減額補正等により効率的な活用を図るべきである。

二、①情報公開条例第17条の出資法人等の指導に関して、目標期限を設定し、公開の実現を図るべきである。

②個人情報保護条例の制定に関して、市長は平成13年度の早い時期に制定するよう努力すると表明されたが、今日までの取り組みと見通しについて。

### 答弁

一、①平成13年度の執行については、平成12年度からの繰越分と平成13年度分の執行ということが多額の予算になっているが、現段階では13年度の年内執行が前提であり年度内の完成に向けて鋭意努力している。

②「繰越明許費の中には、一般財源のみの事業も5件（8,100万円）が含まれているが、事業の執行状況等早期に見きわめ、減額補正等により効率的な活用を図るべきである。こうした対応と配慮はできないものか。」

についてであります。予算の減額については、事業の中止等に至ったもの等が考えられ、補正予算において減額補正は可能であると考えますが、一般財源のみの事業であっても事業の継続性から判断いたしました。繰越明許の処理が適切かと考えておりますが、繰越事業の個々の事情等判断いたしました。適切に処理してまいりたいと考えております。

く市民に対応されている。市が制定しようとする条例は「実施機関等の責務」「適正な取扱い」「開示訂正請求」「事業者が取り扱う個人情報の保護」の4つの分野で構成し、年内に条例案の作成を行い制定に向けての事務を進めていく。施行については、各課等の個人情報取扱事務と、当該条例、施行規則の整合に伴う事務調整、市民等への周知期間等を勘案し、概ね6カ月程度の調整期間をいただきます。施行してまいります。

### 繰越明許費とは？

歳出予算の経費のうちその性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することができる経費をいう。



完成が待たれる大草処理場

# どう考える!?

市政全般にわたって質問、提言などを行った。

## 財政計画を問う!

田中悦造議員

**質問** 市民センター、中央図書館など箱物への積極的な建設投資は、将来の大きなリスクと表裏一体である。今こそ抜本的な長期財政計画の見直しを。

一、各年度末の資産、負債を明示するバランスシートの作成を急げ。  
二、職員の定数管理を厳格に進め、人件費、特に非常勤嘱託職員、日々雇用職員等の臨時職員の削減を。  
三、行政改革の一環として公共工事コストの縮減を。  
四、PFIを導入して、民間の資金やノウハウ等を活用し、公共サービスを提供を民間主導で行う方向へ政策転換を。

**答弁** 一、地方公共団体の普通会計の財政状況をわかりやすく公表することを支援するマニュアルが公表され、住民の方々に分かりやすくすることは、情報公開の一環でもあるので、総務省方式のバランスシート作成について、平成14年度の導入に向けて取組みたい。  
二、住民基本台帳人口や世帯数・面積・事業所数・農業就業人口・道路延長など地方公共団体の行政需要に密接に関係するところを考えられ、その職員数が市の行政需要を適正に汲み上げられるものであるかどうかの判断が必要

である。  
三、兵庫県で策定された土木工事積算基準及び単価設計積算を用いておりますが、市単独事業においては、市単独の事業費コストの削減に努めたい。  
四、篠山市においても数多くの大型事業に取り組んでおり、これらの事業手法として、PFI事業の導入に向け調査研究を行っている。

PFIとは、公共施設などの設計、建設、維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を図っていくこととする考え方。

## 「答申」を農業振興にどう活かす

渡辺省悟議員

**質問** 答申に盛り込まれた次の中期及び緊急提案を、どのように施策化されるか。

一、農地保全策の一つ、「(有)グリーンファームささやま」の活動を合併農協と連携して、全市に拡げるべきだと思ふが。  
二、グリーン・ツーリズム

ムは農村振興の第二の軸足。篠山に多く点在する資源をつなぎ、真の理念も確立するため推進協議会を設立することを要望する。  
三、獣害被害が全市に及び山間部は深刻。生産意欲の減退だけでなく丹波の森が荒れ始めている。

**答弁** 一、来年10月に両農協が合併されると聞き及んでおりますので、農協合併後、時期を見て働きかけたい。  
二、既に「認定農業者後継者連絡協議会」を設置し、相互のつながりを深めており、篠山の農業が環境に優しい視点にたった農業の展開や都市との連携の取り組みについて、各種組織を通じ市全域に浸透するよう指導してい

きたい。  
三、近年、農家からの被害報告が激増している現状にあり、抜本的な解決を図るには、市全域で年次計画をもって対処する必要がありと考える。  
市全域にフェンスの防護柵を設置すると、約五億の事業費となるが、構想計画を樹立し実現に向けた取り組みをおこなっていくと考える。

**グリーン・ツーリズムとは、都市住民が農村に滞在して、農業体験や農村での生活をを通じて、伝統文化、自然等にふれるとともに、地域の人々と交流することを目的とした旅行形態をいう。**



グリーンファームささやま



市民センター完成予想図

## どうする、

一般質問は、9月19日、7名の議員が登壇。

### 公共交通機関及び

### 主要道路への市内アクセス

### 道路網の整備について

酒井朝洋議員

**質問** 当時の多紀郡民の悲願であった、JR福知山線複線電化と近畿舞鶴自動車道の開通、そして新市が誕生したいま、「6万人市政と行財政改革」目標課題に取り組みなければならぬのであるが、その一つの条件として、整備された公共機関へのアクセス道路網の

整備を図る必要があるのです。本市と関西経済圏・阪神都市部との時間的距離は大幅に短縮されたが、広大な面積を有する市内の道路、交通網を整備することに、阪神のベッタウン、田園文化6万人都市の第一歩となるのではないか。今後の現実

可能な取組姿勢と計画について伺いたい。

**★** **答弁** 調和のとれた活力ある市域発展のためには、一定の人口増加を図る必要がある、そのためにも、道路交通網の整備は欠くことの出来ない、非常に重要な条件整備の一つであります。

特に、本市にとっては、合併による行政区域の拡大によって、公共施設やJR福知山線などへの利便性の向上はもとより、行政規模の効率性の観点からみても、京阪神等都市部との利便性を生かし

### 消防署の分署増設について問う

河南克典議員

**質問** 昨年の救急車の出動回数は、1,301件で搬送人員は1,346人となっており、一日平均3・7人、一日最高10人を搬送しているのが実情です。この数字は市民35人に1人が救急搬送されたこととなります。しかしながら、救急車の出動から医療機関等に

収容するまでに要する平均収容所要時間は30分となっております。当然消防署からの遠隔地においては、救急が救急でなくなっている。

近隣同規模程度の市町村の場合、人口約5万人程度で一本部、一〜二分署体制である。一分署増設することにより平均収

容時間が、約3分程度短縮出来ると考える。

市内救急医療体制の公平さと、救急車を要請され、到着を待たれる市民の心境を考える時、早急に分署増設が必要と考える。

**★** **答弁** 神戸市に次ぐ面積を有する篠山市であり、救急患者搬送についてはご指摘のとおり国、県と比較すると時間を要している。本年現消防署庁舎の耐震検査を実施中で、その結果を含め、消火力

た人口増を図る必要がある。

市内中心部においても都市計画道路の見直しを検討するとともに、城西線や中央線の整備を進め、周辺部との利便性を高めるため、継続中の篠山西紀線や大沢新栗栖野線、新たに整備すべき大沢味間南線や油井小野原線など、また、篠山口駅やインターに集中する車両の分散化も必要となっており、国県市道の整備に積極的に取組みたい。

の基準に沿って一本部、一分署の方向で建設位置も含め充分検討の上決定する。現時点では平成21年〜23年の財政計画となっているが、出来る限り早急に財政措置をし、現時点計画より早期実現に向け積極的に取り組みたい。

なお、現在10名の救急救命士を将来的には18名体制とし、組織の充実も図る。



高規格救急車



にしきトンネル

## 環境浄化と少子化対策

谷 貴美子 議員

**質問** 一、篠山城には、大書院ができ観光振興、文化創造の拠点としての役割を果たしている。周辺整備（二の丸庭園整備に事業費4,800万円）の工事がされ濠に水を流し込み浄化しようとしているが、うわ水はきれいになるが濠底の汚泥は埋積したままであり、取り

のぞくのに数億円かかる。そこで他市でも使用しているEM菌を使ってみてどうかと考えます。  
二、少子化対策、委任払い制度について、出産育児一時金30万円を市が直接病院等に支払うことで被保険者が退院時に差額を支払えば、被保険者の負担は少なくなすむ。また、

病院側も出産費が確実に支払っていただけなので大変助かるのではと考えますが。

**答弁** 一、河川環境整備事業として、藤岡川からの清水を補給する工事が本年度完了することにより、濠の水質浄化に期待しております。EM菌利用は、実績も浅く、データも少ない状況ですので、今後の課題として研究します。

二、厚生労働省は、少子化対策の一環として出産一時金を受けることが見

込まれる世帯主で、出産を控え金銭的な不安を抱える親に対し、出産に要する費用を支払うための出産費の貸付制度を創設いたしました。

篠山市も、兵庫県国民健康保険団体連合会に事務を委託し、10月からこの制度による貸付事業を実施する予定です。

委任支払い制度につきましては、今後国保連合会、医療機関及び関係機関と協議をしながら実施の方向で十分検討してまいります。

## 電子化の推進と市役所機能の充実について

藤本 忠 男 議員

**質問** ①情報通信技術の急速な普及に対応すべき電子自治体構築のためIT戦略会議を組織し積極的に取り組むべきである。  
②電子化による総合窓口の設置について。  
③今後のIT社会で医療保健、福祉などの機能も含めたICカード（総合

カード）の取り組み。  
④電子入札の取り入れについて。

**答弁** ①我が国では5年以内世界最先端のIT国家となることを目指した、「e-Japan戦略」を平成13年1月に決定。さらに政府は各自治

体における推進のための体制づくりが上げられている。兵庫県においても電子県庁の取り組みを進めている。本市においてもIT講習推進会議を設置しており地域情報計画の策定段階で市民や有識者の意見を取り入れられる組織作りを図っている。

②電子化を有効に活用した総合窓口業務の導入と合わせてより効率的で便利なあり方を検討する。  
③ICカードについては様々な検討や試行が行わ

れており、行政サービスにおいて様々な可能性を広げていく反面、データの流出といった個人情報保護の問題など、解決すべき課題はまだまだあり慎重に対応していく。

④電子入札制度は、入札手続きにかかる手間の縮小が図られ発注者受注者とも利点があるため積極的に導入を検討する。  
しかし入札に伴うトラブルは少なくなくても無くすることは出来ない。



IT講習



篠山城のお濠

# 要望を受けました

## ◆篠山市の子育ての環境改善を求める

味間保育園保護者会  
他 9 保育園保護者会

### ●要望の主旨

保育園をはじめ、篠山市における子育ての環境は、児童育成計画発表後1年以上を経た現在も全く改善されておらず、近隣市町と比べて著しく見劣りするものとなり、次の課題について即時の行動と改善を要望します。

- ・ 保育所の保育料の減額
- ・ 保育所の延長保育と幼稚園の預かり保育の即時実施と学童保育の充実。
- ・ 保育士の人員増と設備の充実。
- ・ 保育所の合併・幼稚園との統合等の計画に保護者や現場の声を尊重すること。



## 公共工事入札制度の改善について

森本 長 寿 議員

**質問** 公共工事の入札・契約適正化法が施行され、本市にあっても「談合」は反社会的な不正行為として積極的排除し、公共工事の透明性・競争性・公平性を一層高める観点から入札制度全般を見直し、改革を図った所であるが、談合防止を制度的に保証するには、如何に競争性

の原則を貫くシステムを構築するかである。その意味で、横須賀市の業者指名を廃止し一般競争入札のみとした制度改革は、先進事例として学ぶ所が大である。しかし、一般競争入札も予定価格20億円以上の工事が対象では、実体を伴わないことは言うまで

**答弁** 横須賀市の入札制度は非常に興味をもっており、本市においては本年6月に新しい入札制度を導入して事務を進めておりますが、改善は今後もしていかなければなりません。そのときに横須賀市の入札制度は非常に参考になるものと考えており、研究をしていきたいと思っております。尚、現在策定しております一般競争入札は小規模工事には不適切でありま

もない。

すので、今後の改善については横須賀市の入札制度も視野に入れて検討を進めてまいります。しかし、市内の業者数は約70社でその殆どが中小企業であり、コンピュータ等の導入、取扱の状況等考慮しつつ、また市内業者限定であると競争が働かないの疑問もありますので、横須賀市の制度をそのまま取り入れるのではなく、篠山市になじむ一般競争入札を検討してまいります。



数多くの公共工事

## ◆教育の機会均等のための 施設整備

今田中学校PTA会長

### ●要望の主旨

次の世代を担う子ども達がさらに安全に、充実した教育が受けることができますよう、次の要望事項につきまして早急に実現していただきたく、要望いたします。

教育の機会均等のための施設整備として、今田中学校にプールを早急に建設していただきたい。また具体的な建設計画をお示しいただきたい。

登下校の安全を確保するための通学路の整備として、市道今田新道線未改良区間の整備を早急に行っていただきたい。

## ◆登下校の安全を確保する ための通学路の整備

今田小学校PTA会長  
今田中学校PTA会長

### ●要望の主旨

児童生徒の登下校の安全を確保するための通学路の整備を早急に実現いただきたく要望いたします。

- ・ 県道下立杭柏原線に歩道を設置
- ・ 県道黒石三田線未改良区間の整備
- ・ 国道372号線本荘交差点付近の改良
- ・ 市道向山線に歩道を設置



国道372号線本荘交差点

## ◆牛肉の安全性と狂牛病に 対する対策等について

篠山町農業協同組合  
代表理事組合長  
肉牛部会部会長  
和牛生産部会部会長

### ●要望の主旨

この度、発生した狂牛病対策の曖昧さのため、畜産農家にとっては重なるダメージとなり、補助施策が導入され

ても、死活問題であります。国民が安心して牛肉を食することができますよう、次のとおり要望します。

- ・ 牛肉の安全性と狂牛病に対する正しい知識を得る広報誌への掲載。
- ・ 学校給食食材の牛肉使用を現行どおり継続する。
- ・ 県に対し早急な対応を働きかける。
- ・ 現在30カ月以上出荷停止に伴う支援策を行う。
- ・ 市防疫体制組織の確立を急ぐ。

9月4日から10月5日まで受付分

# 視察研修を しました



## 温泉と農業公園

### 温水プールの視察研修

総務文教常任委員会  
副委員長 市野 忠志

#### 管理運営面を重視

こんだ薬師温泉と農業公園・西紀運動公園の温水プールについては、今田、西紀両支所の重点事業であり、支所からも各々同行を願った。調査内容を絞り込んで、管理運営面について所管事務調査をした。

#### こんだ薬師温泉と農業公園について

8月20日伊那市を訪れ、「みはらしファーム」はびる農業公園・みはらしの湯を視察した。J A事業を含み総事業費15億2,800万円、オープンして2年経過、観光いちごハウス、1年目6万1,000人、2年目7万4,000人、今年は8万人を見込んでいる。

直販所は市が建設、J A管理、加工所はJ Aが建設、4団体の管理運営、トマトの木（ファームレストラン）は市が建設、J Aと民間が共同運営、運営はいずれも意欲ある周辺農家である。1年目の利用77万人、2年目78万人、農家の新しい挑戦として収穫体験に意気込んでいる。

委託料は職員2名の人件費を含めて、市の持ち出し経費は5,000万円程度である。

温泉との相乗効果について当初の予想通り、農業振興に大きくかわわっているとのことである。

#### 温泉について

みはらし湯は源泉で40度、1日12tを使用、総事業費14億円、経営は第



三セクター、伊那市総合開発、入湯税約2,500万円、利用者1日500人から600人、13年3月決算で営業収入1億8,500万円、売上げの2%を市へ戻すこと、市への返済が2,000万円、差引330万円の黒字となっている。支所からの現状報告を

聞き、市民の期待と夢は、新市建設計画による、本施設の早期実現を待望していることである。

「人と自然の調和した田園文化都市」をめざして伊那市よりの報告とします。

#### 温水プールについて

木曾福島町へ伺う。焼却場に伴う条件整備で温水プールを設置。利用状況は平成12年度1万7,882人、高齢者の健康ブームもあり町バスが運行されている。熱源は焼却炉から15%程度、通常は灯油、夏場で1日100ℓ、冬場で200ℓ、運営経費2,800万円、使用料を安くしており、町の持ち出しは1,300万円と多い。

本市の進める温水プールの熱源は検討課題である。木曾福島町の事情とはかけ離れているが、繰入れのない健全運営の温水プール建設を期待している。

#### 議会開催のお知らせ

##### 本会議の予定

- 12月12日（第1日）
- 12月13日（第2日）
- 12月21日（第3日）

##### 一般質問

- （代表・個人）
- 12月26日（第4日）

ぜひ傍聴に  
お越し下さい

インターネットでも  
市議会だよりが  
ご覧になれます。



ホームページは  
<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/>  
です。



# 議会のうごき

平成13年8月～11月

- 8月20日(月)～21日(火) 総務文教常任委員会(視察 長野県伊那市・木曾福島町)
- 28日(火) 公有財産有効活用調査特別委員会
- 30日(木)～31日(金) 阪神市議会議長会研修会(神奈川県横須賀市)
- 9月3日(月) 会派調整会・委員長会・議会運営委員会
- 7日(金) 議員全員協議会
- 12日(水) 民生福祉常任委員会(所管事務調査)
- 17日(月) 第21回篠山市議会定例会(第1日)
- 18日(火) 議員全員協議会
- 19日(水) 第21回篠山市議会定例会(第2日)
- 20日(木) 第21回篠山市議会定例会(第3日)
- 25日(火) 総務文教・産業建設常任委員会(決算審査)
- 26日(水) 総務文教・産業建設常任委員会(決算審査)
- 27日(木) 民生福祉・産業建設常任委員会(決算審査)
- 10月1日(月) 議会広報編集特別委員会
- 2日(火) 民生福祉常任委員会(決算審査)
- 3日(水) 総務文教・民生福祉常任委員会(決算審査)
- 4日(木) 総務文教常任委員会(決算審査)
- 10日(水) 議会運営委員会
- 12日(金) 第21回篠山市議会定例会(第4日)
- 17日(水) 議員全員協議会
- 22日(月) 公有財産有効活用調査特別委員会
- 25日(木) 公有財産有効活用調査特別委員会
- 26日(金) 議会広報編集特別委員会
- 29日(月)～31日(水) 新政会政務調査(視察 秋田県能代市・秋田市、岩手県江刺市)
- 31日(水) 阪神市議会議長会(神戸市)
- 11月1日(木) 公有財産有効活用調査特別委員会
- 5日(月) 議会運営委員会・委員長会
- 9日(金) 公有財産有効活用調査特別委員会
- 12日(月) 兵庫県市町正副議長研修会(神戸市)
- 13日(火) 第22回篠山市議会臨時会・議員全員協議会
- 14日(水)～15日(木) 公有財産有効活用調査特別委員会
- 15日(木) 民生福祉常任委員会(視察 石川県金沢市・松任市)
- 16日(金) 産業建設常任委員会(視察 岐阜県東白川村、三重県桑名市)
- 20日(火) 公有財産有効活用調査特別委員会

## まちなみ

▼9月11日午後9時過ぎニューヨークの世界貿易センタービルに航空機が突っ込み、爆発炎上した。同10時前には、別棟にも激突、2棟とも破壊。さらに航空機がピッツバーク郊外に墜落、ワシントン郊外のペンタゴンにも突入した。破壊したビルは5万人が働いていた。

▼第21回定例議会が開会したのは翌日の9月12日であった。想像を絶するテレビの画面を見て声もなかった。本会議では事件には特に触れることなく粛々と会議は進められた。全世界を震撼させた米中核同時テロ事件、議会は兵庫県義援金募集に協力したが、今後も予断を許さない。

▼秋は運動会たけなわであるが、9月22日市内の13小学校で運動会が行なわれていた。今田小でのこと、朝の校長先生のあいさつのとき突然風でテントが舞いあがり、348名の園児児童の上に落ちてきた。一瞬パニック状態に陥る。なすすべもなく悲鳴だけが聞えた。しかし校長先生や諸先生方の対応は早かった。こどもたちを落ち着かせ非常事態を乗り切った。幸い負傷者は軽傷で異常もなく全テントは撤収し、運動会は続けることができた。不測の事態を教訓としたい。

▼9月28日地震や台風を想定した防災

総合訓練を実施した。各種団体などから600人が参加した。消火器による初期消火訓練や土砂くずれで通行止となり、土砂撤去中に訓練とはいえハプニングがあった。私たちは本当に有事に落ち着いた行動が果たしてできるのか考えさせられた。

▼職員のマラルが問われた。香住、三田、氷上と次々と身近なところで教師の事件が起きる。本市では元職員が逮捕された。職員の資質向上に向けて自己点検申告制度をとり入れ提出させるといふ。成果のあがることを市民と共にみつめよう。

▼今回も「一般質問に関する申し合わせ事項」の改正をした。内容は再質問は同会派1名以内で質問時間内で関連質問ができる。本件に関しては第8、9号でも触れている。議会の活性化につながる合理的な改善策が望まれる。今回の代表質問は2会派個人質問は7名だった。

▼さて2001年も一ヶ月と少し、厳しい社会情勢のなかで振り返ればかつて経験したことのない泥沼に落ち込んでいる。議会は市民の負託にこたえて議員活動を通じて篠山市発展に努力せねばならない。尚一層のご叱正、ご鞭撻を願う次第です。

- 委員長 市野 忠志
- 副委員長 足立 義則
- 委員 酒井 朝洋
- 澤 光吉
- 波多野 元治
- 河南 克典